

事業番号

2022 - 法務 - 21 - 0028

令和4年度行政事業レビューシート (法務省)

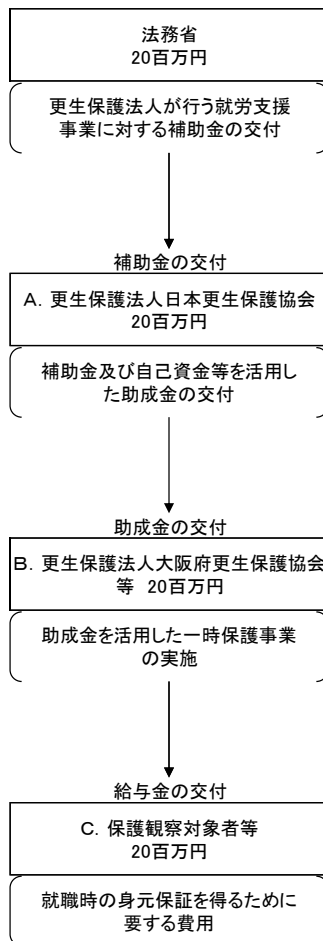
事業名	就労支援事業への補助			担当部局庁	保護局		作成責任者		
事業開始年度	平成18年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	更生保護振興課地域連携・社会復帰支援室		地域連携・社会復帰支援室 長 西村 朋子		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	更生保護事業法(平成7年法律第86号)第58条ほか			関係する 計画、通知等	「「世界一安全な日本」創造戦略」等				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	更生保護法人が行う就労支援事業(身元保証制度)について、国が経費の一部を補助することにより、就労の困難な刑務所出所者等の就労を促進して、その再犯防止・改善更生を図ることを目的としている。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	身元保証が得られないため就労が確保できない刑務所出所者等が身元保証事業者から身元保証を得るために必要な経費を、国がその2分の1を交付限度として補助するもの。 なお、刑務所出所者等の就労を確保し、再犯を防止するため、平成18年度から、厚生労働省と連携して、身元保証等の各種就労支援メニューの活用を始めとする総合的就労支援対策を実施している。								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	29	29	27	27	27		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	29	29	27	27	27		
	執行額		27	23	20				
	執行率(%)		93%	79%	74%				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		93%	79%	74%				
	令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由			
更生保護事業費補助金		27	27						
計		27	27						
活動内容 (アクティビティ)	身元保証が得られないことを理由に就労が確保できない刑務所出所者等に対して身元保証事業者から身元保証を得るために必要な経費を支援(身元保証制度)している更生保護法人に対し、国がその2分の1を交付限度として補助する。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	身元保証実施件数の増加	身元保証制度実施件数	活動実績	件	2,013	1,691	1,485	-	-
			当初見込み	件	2,258	2,180	2,013	2,013	-
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額/実績件数		単位当たり コスト	円	13,413	13,601	13,468	-	
			計算式	執行額/件数	27百万円/2,013件	23 百万円/1,691件	20百万円/1,485件	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4 年度	目標最終年度 - 年度
	保護観察終了時の無職者率を前年度比減とする。 (令和3年度成果実績は速報値であり、中間目標値は暫定値。)	保護観察終了時の無職者率(保護観察終了時無職者数/保護観察終了者数-保護観察終了時職業不詳者数) (令和3年度成果実績及び達成度は速報値。)	成果実績	%	21.3	25	24	-	-
			目標値	%	21.1	18	24.9	23.9	-
			達成度	%	99.1	72	103.8	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	保護統計年報								

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	更生保護活動の適切な実施(Ⅱ-7)						
		施策	保護観察対象者等の改善更生等(Ⅱ-7-(1))		政策評価書URL	https://www.moj.go.jp/content/001354679.pdf			
	取組事項		分野:	-	-				
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:		-					
		該当箇所		-					
事業所管部局による点検・改善									
国費投入の必要性	項 目			評 価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	本事業は、自助努力では身元保証が得られない刑務所出所者等の就労を確保し、生活を安定させるために必要な事業であり、再犯防止と密接に関連している。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	刑務所出所者等に対する身元保証料の一部を補助するものであり、国が実施する必要がある。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	本事業は優先度の高い事業である。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	予算の執行に当たっては、コストの削減に努め、事業目的に必要なものに限定している。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無					
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	計画案の策定の段階からコスト削減に努めており、単位当たりコスト等の水準は妥当である。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	資金の流れの中間段階での支出は、直接補助事業者から間接補助事業者に対する補助金の交付に限定されており合理的である。				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	費目・使途については、本事業の目的に即したものに限定されている。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	新型コロナウイルス感染症等の影響により、事業実施件数が年度当初の見込みを下回ったため。				
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-				
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-	-				
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	成果目標に見合った成果実績と認められる。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			△	見込みを下回る活動実績であったものの、補助金の適切な交付に努めている。				
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-				
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			○	厚生労働省との共管で刑務所出所者等総合的就労支援対策を実施しているが、厚生労働省予算では、職場体験講習、セミナー・事業所見学会及びトライアル雇用といった就労支援メニューを実施し、法務省予算において身元保証制度を実施している。				
	事業番号			事業名					
		厚生労働省						刑務所出所者等就労支援事業	
点検・改善結果	点検結果	事業実施件数について、新型コロナウイルス感染症の影響等により年度当初の見込みを下回った。活動実績は見込み件数を下回る結果となったものの、補助金の交付手続等に関しては国の会計手続を遵守して実施されており、現時点において特に見直す必要性は認められない。なお、今後も継続して検討を行い、必要に応じて見直しを図ることとする。							
	改善の方向性	今後も継続して点検を行い、必要に応じて見直しを図ることとする。							

外部有識者の所見				
成果実績を見ると、無職者率の割合に20%の壁があるように見受けられる。令和2・3年度の無職者率が24～25%と高くなっていることは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響と考えられるが、無職者率が前年度比減となるよう、ひいては20%を下回るよう、身元保証制度の積極的かつ適正な執行を図られたい。				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	引き続き効率的な予算の執行に努められたい。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	引き続き、事業の積極的な実施と適正な予算執行に努める。			
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成23年度	0045			
平成24年度	0049			
平成25年度	0035			
平成26年度	0028			
平成27年度	0027			
平成28年度	0026			
平成29年度	0026			
平成30年度	0026			
令和元年度	法務省 - 0027			
令和2年度	法務省 0029			
令和3年度	2021 法務 20 0028			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.更生保護法人日本更生保護協会			B.更生保護法人大阪府更生保護協会		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	補助金	就労支援事業費の交付	20	助成金	就労支援事業費の助成	2
	計		20	計		2
	C.個人A			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	更生保護法人日本 更生保護協会	5011005000681	就労支援事業費の交付	20	補助金等交付	-	-	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	更生保護法人大阪 府更生保護協会	9120005004166	就労支援事業費の助成	2	補助金等交付	-	-	-
2	更生保護法人福岡 県更生保護協会	8290005002963	就労支援事業費の助成	2	補助金等交付	-	-	-
3	更生保護法人東京 都更生保護協会	6010005002547	就労支援事業費の助成	2	補助金等交付	-	-	-
4	更生保護法人愛知 県更生保護協会	5180005003240	就労支援事業費の助成	2	補助金等交付	-	-	-
5	更生保護法人埼玉 県更生保護観察協 会	3030005001426	就労支援事業費の助成	1	補助金等交付	-	-	-
6	更生保護法人兵庫 県更生保護協会	5140005002849	就労支援事業費の助成	0.8	補助金等交付	-	-	-
7	更生保護法人神奈 川県更生保護協会	5020005003685	就労支援事業費の助成	0.8	補助金等交付	-	-	-
8	更生保護法人茨城 県更生保護協会	5050005000168	就労支援事業費の助成	0.8	補助金等交付	-	-	-
9	更生保護法人宮城 県更生保護協会	9370005001717	就労支援事業費の助成	0.5	補助金等交付	-	-	-
10	更生保護法人栃木 県保護観察協会	9060005000642	就労支援事業費の助成	0.5	補助金等交付	-	-	-

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	身元保証料	0	その他	-	-	-
2	個人B	-	身元保証料	0	その他	-	-	-
3	個人C	-	身元保証料	0	その他	-	-	-
4	個人D	-	身元保証料	0	その他	-	-	-
5	個人E	-	身元保証料	0	その他	-	-	-
6	個人F	-	身元保証料	0	その他	-	-	-
7	個人G	-	身元保証料	0	その他	-	-	-
8	個人H	-	身元保証料	0	その他	-	-	-
9	個人I	-	身元保証料	0	その他	-	-	-
10	個人J	-	身元保証料	0	その他	-	-	-